

佳作

私のために見せてくれたもの

群馬県 藤岡市立東中学校三年 原田 明日香

私が所属していたテニス部には、いつもあまり表情を変えないとても冷静な先生がいました。その先生は私達の学年の国語を担当しています。私は正直、その先生のが苦手でした。もう少し笑ってほしいとか、ていねいな日本語を使えばかりでなく、もう少し親しく話してくれてもいいのになと思うことがたくさんありました。

今年の二月、私は部活の遠征で右ひざのお皿の骨を折るなどの大ケガをし、三月に手術をしました。主治医には、

「半年以上は運動もだめだね。残念だけど、最後の夏の大会も出るのは難しいかな。」

と言われ、大きなショックを受けました。退院して学校へ復帰してからは、誰かの手を借りないと、まともに生活出来ない状態が続いていました。たくさ

んの友達と先生に氣遣ってもらい、私は申し訳ない気持ちでいっぱいでした。

そんなある日の朝早く、廊下でその先生に会いました。私は、

「おはようございます。」

と言い、その場を後にしようとしたら、

「おはよう。足のケガはだいぶ回復したみたいですね、良かった。」

と言い、いつもの冷静な表情に少し笑みを浮かべてくれました。「あつ、初めて私に笑みを浮かべてくれた」少し意外でした。

それから日は流れ、とうとうラストの夏が来てしまいました。主治医が言った通り、私は試合に出られませんでした。私は母と部活の先生に、

「応援を全力で頑張って来ます。」

と言い、精一杯、声をからすまで大声を出しました。その時もあの先生は冷静な表情でした。母は家で応援しているといい、会場には来ませんでした。団体戦、個人戦を勝ち抜いた私の学校は見事県大会への切符を握りました。閉会式が終わり、帰り支度をしていたら、あの先生から私に話しかけてきました。その時、私はとても驚きました。なぜなら、先生の顔は

満面の笑みで、目には涙を浮かべていたからです。いつもの冷静な表情はどこにもありませんでした。先生は、

「よく頑張ったね。よくたえたね。あんなにつらいことがあったのに、チームメイトのことをあんなに全力で応援してるあなたは素晴らしいよ。ありがとう。」

と言ってくれました。それは、面と向かって見せてくれた初めての笑顔であり、また初めての涙でした。先生はいつも私のことを気にしてくれていたのです。私の悔しい気持ちを知っていたのです。私はその時、急に涙が出てきました。

いつも冷静で笑顔をあまり見せない先生の内側は、とても温かかったです。いつでも誰かの事を気にかかけ、見守ってくれています。私にとってその先生の印象がだいぶ変わりました。

ラストの夏に先生が私のために見せてくれたあの笑顔は今でもはっきりと覚えています。決して忘れません。